ライブ配信で中継します！

第7回 やぶ医者大賞 オンライン表彰式

やぶ医者大賞は、「やぶ医者」の語源が「養父にいた名医」であったことにちなみ、全国各地で地域医療に貢献している若手医師を顕彰するもので、今年も2名の医師に「やぶ医者」の称号を贈ります。今回は、新型コロナウイルス感染症が全国的に広がっている状況をふまえ、オンラインにより表彰式を実施します。

令和2年 8月22日（土） 18:30-19:40

表彰式と受賞者発表の様子を YouTubeで ライブ配信！

配信はこちらから！

養父市 LIVE
- 長野県小谷村
- 愛媛県愛南町

表彰式スケジュール

- ●開会セレモニー
  プロローグ（やぶ医者の語源紹介VTR）/主催者あいさつ
- ●やぶ医者大賞表彰式
  審査講評/表彰/特別功労者表彰
- ●受賞者発表
  受賞者取組発表
- ●閉会セレモニー
  あいさつ

受賞者取組発表

「小谷村５４(ゴシ)プロジェクト ～生涯住める村めざして～」
中井 和男氏（長野県 小谷村国民健康保険小谷村診療所 所長）

「訪問診療が地域を作る-愛南町での多職種連携の取組み-」
松本　毅氏（愛媛県 医療法人 松本クリニック 理事長）

主催/養父市
後援/日本医師会、全国国民健康保険診療施設協議会、全国自治体病院協議会、関西健康・医療創生会議、認定NPO法人日本ホルモンステーション、兵庫県医師会、兵庫県市町診療施設運営対策協議会、兵庫県、養父市医師会、公立八鹿病院

問合わせ先　養父市健康福祉部保険医療課 兵庫県養父市八鹿町八鹿1675 (TEL.079-662-3165)

藪医者の語源は、養父の名医！

江戸時代の俳人で松尾芭蕉の門弟である森川許六（もりかわきょりく）という人が編纂した「風俗文選（ふうぞくもんぜん）」という俳文集があり、この中に「藪醫者ノ解」と題する一節があります。

俳文集「風俗文選　藪医者ノ解」の一節より

藪醫者（やぶいしゃ）の解　　汶村（ぶんそん）

世に藪醫者（やぶ）と號（ごう）するは。本名醫の稱（もとめいい　しょう）にして。今いふ下手（へた）の上にはあらず。いづれの御ン時にか。何がしの良醫（りょうい）。但州養父（たんしゅうやぶ）といふ所に隠れて。治療をほどこし。死を起し生に回（かえ）すものすくなからず。されば其風（そのふう）をしたひ。其業（そのわざ）を習ふ輩（やから）。津々浦々にはびこり。やぶとだにいへば。病家も信をまし。藥力も飛がごとし。・・・・・

※出典：岩波文庫『風俗文選』（伊藤松宇校訂、昭和３年10月15日発行）
※この一節で藪医者に言及したのは許六ではなくその門弟で、許六と同じく近江彦根藩士の「汶村」という人物です。

この一節を意訳すると次のようになります。

世の中で「藪医者」という表現は、本来名医を現す言葉であって、今言われている下手な医者のことではない。いつごろの時代であろうか。ある名医が但馬の養父という所にひっそりと隠れるように住んでいて、土地の人に治療を行っていた。死にそうな病人を治すほどの治療を行うことも少なくなかった。その評判は広く各地に伝わり、多くの医者の卵が養父の名医の弟子となった。養父の名医の弟子と言えば、病人もその家人も大いに信頼し、薬の力も効果が大きかった。

なぜ名医の代名詞としての「養父医者」は、ヘタを意味する「藪医者」となってしまったのでしょうか。

「養父の名医の弟子と言えば、病人もその家人も大いに信頼し、薬の力も効果が大きかった。」と「風俗文選」にもあるように、「養父医者」は名医のブランドでした。

しかしこのブランドを悪用する者が現れました。大した腕もないのに、「自分は養父医者の弟子だ」と口先だけの医者が続出し、「養父医者」の名声は地に落ち、いつしか「藪」の字があてられ、ヘタな医者を意味するようになったのではないでしょうか。

「藪医者」の語源については、様々な説がありますが、文献に基づいた「藪医者とは、もともと名医を現す言葉であり、その語源は養父の名医である」という説が本当ではないでしょうか。

動画で分かりやすい！
「藪医者と養父の名医の話」